

高等部3年生・職業支援セミナーを実施しました

『岐阜障がい者就業・生活支援センター』は、一般就労した人が職場定着して働くことができるように、定期的に職場を訪問して、障がい者と企業の両方からの相談にのったり、就業に関わる住居や生活面の相談ができる機関であることが分かりました。地元を離れて就職する人も、管轄の『障がい者就業・生活支援センター』に相談ができることが分かりました。



また、自分にとってのワークライフバランスを大切にし、自分らしく働くことができる職場を選ぶとよいと助言をいただきました。

参加した生徒からは「高等部卒業後も、就職や生活について相談できる機関があることを知り、心強く感じました。」などの感想が聞かれました。